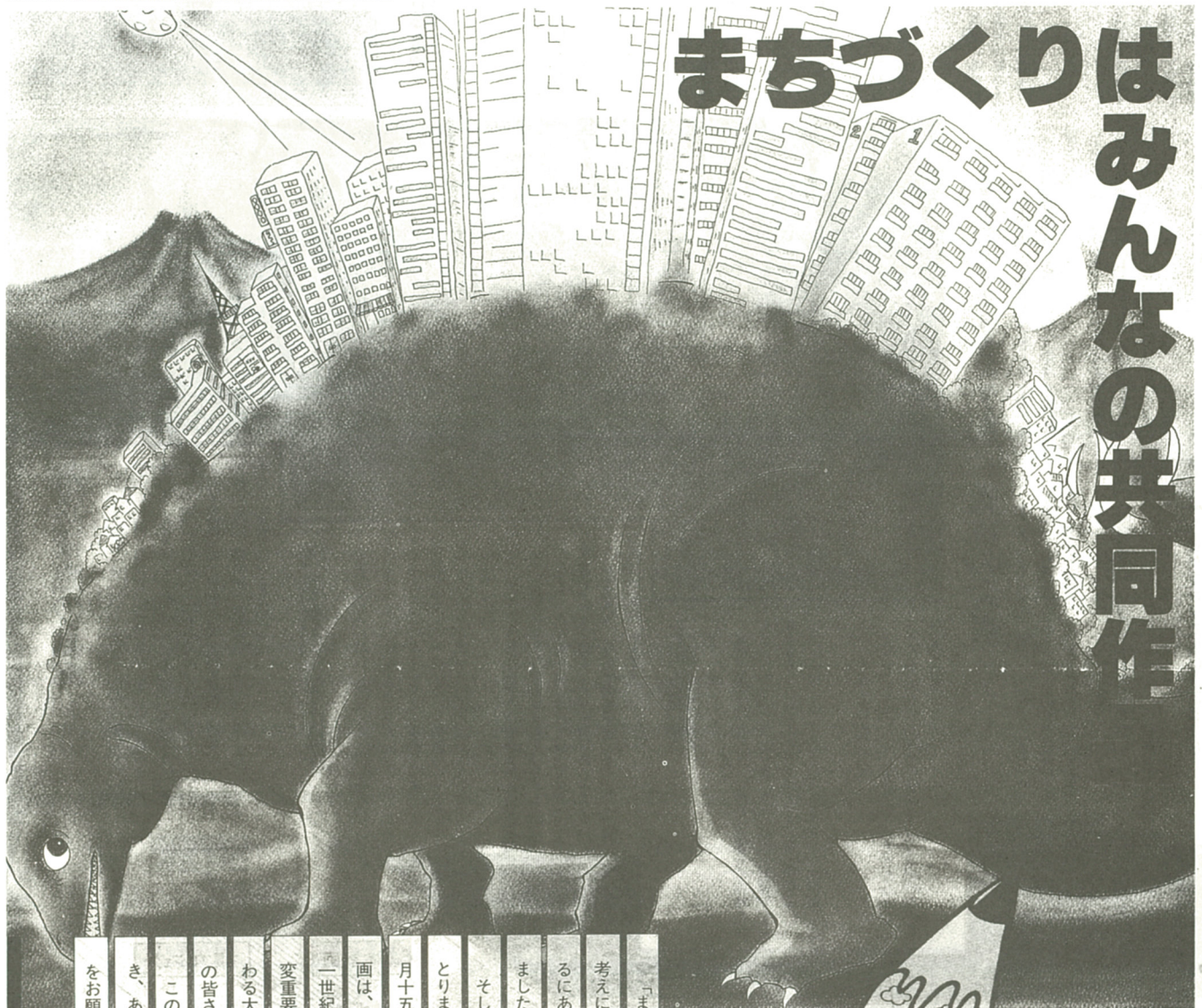


総合計画  
特集号

広報  
えびな

編集・発行  
海老名市役所企画調整課  
〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬175  
☎ (0462) 31・2111



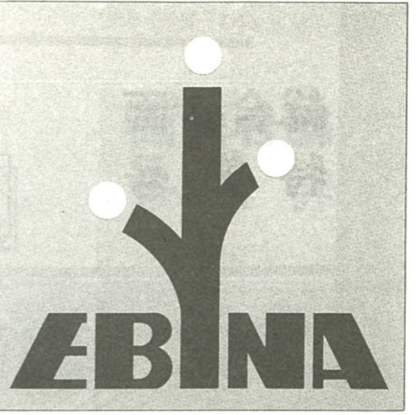
まちづくりは  
みんなの共同作



「まちづくりは、みんなの共同作品」です。市では、このような考えに立ち、市民の皆さんとともに、海老名のまちづくりをすすめるにあたって、その基本となる計画を策定する作業に取り組んでました。

そして、このたび、(仮称)海老名市第三次総合計画を素案としてとりまとめましたので、その概要をご報告いたします。平成元年一月十五日号の広報えびな号外ですでお知らせしたとおり、この計画は、一口で言うと「市の進むべき道」を示したものであり、二十世紀へ向けての時代の転換期において、この計画が示す方向は大変重要なものとなります。一方で、市民の皆さん一人ひとりにかかわる大変重要な部分も含んでいますので、市では、できるだけ多くの皆さんのご意見を採り入れさせて頂ければと考えております。

このようなことから、ひとりでも多くの方にこの計画をご理解頂き、あわせて十月に予定をしております市民集会にふるってご参加をお願いいたします。



### 新しい時代への認識

#### 1. 社会変化の潮流

安定成長が経済基調となっている今日において、二十世紀から二十一世紀に向かった社会経済の予測には、依然不透明な部分が多くあります。そのなかにあつて、高齢化、都市化、情報化、国際化、価値観の多様化は、着実に進行しており、さらにこれからの社会変化に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

こうした潮流が、海老名のまちづくりでも重要な方々となるのは確かです。そこで、海老名ではこれらの潮流からどのような動向が予測されるか、まとめてみます。

#### (1) 人口の高齢化

高齢者人口については増加傾向が見られ、生活の経済的な安定をはかる必要が考えられます。また、生きがい活動の高まりも見られ、福祉サービスの需要は増大するものと予想されます。

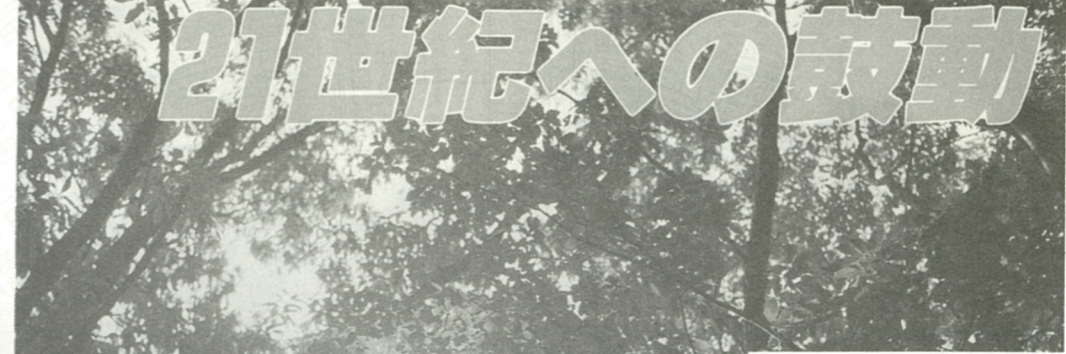
#### (2) ネットワーク時代の都市化

交通・通信・情報の進展に伴い、高度の都市化が考えられるため、自然の保全と都市基盤の整備を行いつつ、調和のとれた都市への発展が必要になります。

#### (3) 都市の情報と国際化

情報産業の発達により、市民生活の中に高度な情報化がはかれることが予想され、国際情報の普及や自由時間の増大により異なる生活習慣・文化への関心の高まりや、都市間・地域間の交流も拡大されることが予想されます。

## 21世紀への鼓動



### 基本構想の目的

この基本構想は、二十一世紀という、新しい時代の初頭における、海老名の望ましい「都市像」をえがくとともに、これを表現していくための「施策の大綱」を定めたものです。そして、この基本構想は、市民、市、関係機関・団体が一体となって総合的、計画的にまちづくりを進めていく指針になるものです。

### 海老名の都市像

海老名には、自然、歴史・文化が今も息づいています。この特性を生かし、前述した今後のまちづくりでの基本的考え方を踏まえながら、海老名を人びとがふれあい、健康で暮らしやすいところのある住みよいまちにすることをめざします。

そこで、この基本構想では海老名の都市像を「緑と太陽に恵まれたわがまちえびな」を継承し、来るべき成熟社会における海老名市民の生活像をとなえ、「ゆとりと活力のあるまちえびな」と設定し、目標年次を平成二十二年(西暦二〇一〇年)とします。

### 主要指標

1. 人口
 

海老名の将来人口は、居住環境や自然環境の保全、これまでの人口推移、土地利用の形態等を勘案すると、目標年次の平成二十二年(西暦二〇一〇年)には一四・五万人台になるものと想定します。
2. 土地の利用
 

首都圏に位置し、平坦な地形、恵まれた交通網・豊かな自然等の立地条件を踏まえ、計画的な土地利用をめざします。

### 施策の大綱

- 海老名には、自然、歴史・文化が今も息づいています。この特性を生かし、都市像の実現に向けて、次の5項目をまちづくりの基本目標としています。
- 健康でいきがいにあふれたまち
 

健康福祉都市
  - 心ゆたかな文化のあふれたまち
 

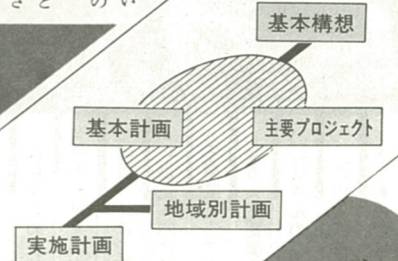
教育文化都市
  - ゆとりのある住みよいまち
 

生活拠点都市
  - 地域経済に活力があるまち
 

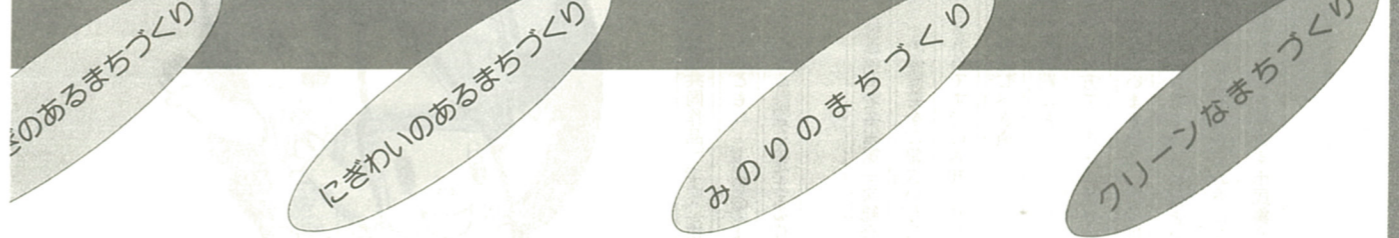
産業複合都市
  - 安心して快適・暮らしやすいまち
 

快適環境都市

### 総合計画の構成



## ゆとりと活力のあるまちえびな



増大や価値観の多様化、流のなかで、自然に親しむの高まりがみられます。源の活用や新たな創造をワーク化をすすめる、やすつとめま。

余暇指向の高まりに対応した環境整備を促し、えびなの「にぎわいつい」のイメージをアピールすることにより市のイメージアップをはかり、にぎわいのあるまちづくりにつとめま。

海老名の農業を生産面だけでなく、都市空間や防犯的見地などの多面的な機能の維持をしていくため、その農業経営を活性化し、幅広い展開を行い、みのりのまちづくりにつとめま。

大量消費型の生活が浸透している現在、誰もがクリーンな環境を求めているのに反して、ゴミや排水の問題はますます深刻化しています。このため、これらを市民生活のなかでとらえなおし、中長期的な見通しのなかで、その消費者意識の向上をはかり、クリーンなまちづくりにつとめま。

(4) 安全の多様化  
生活の中における自由時間は増加する傾向にあり、生活様式が変化していくことにより、画一的なことから個性的なものへと価値観の変化が考えられます。また、居住環境の質的整備が今後の中心的な課題の一つになることが考えられます。

#### (3) 高齢化社会への対応

保健・医療や福祉的な支援を充実することも、雇用機会の拡大など経済的な自立を支援するためのシステムづくりをしていきます。また、学習要求に対応した生涯学習体制の確立や地域社会の担い手としての環境づくりを行い、人生八十年時代の生きがいづくりをしていきます。

#### (2) 居住環境の総合整備

快速で災害にたいしても堅固な居住環境の形成をすすめることにも、やすらやうなおいのある快適な居住空間をつくるため景観づくりも進めていきます。

#### (1) 都市構造の整備

地を整備し、自立性の高い都市構造を目指し、自然環境の保全や創造にやすらやうとゆとりのある都市環境を整備してまいります。

#### (5) 市民文化の創造と文化財の保護活用

文化活動へ積極的に参加できる機会をつくり、文化活動の活性化を進め、文化財をはじめとした歴史・自然といった文化的資源を活用し、文化の薫りのするおおいある空間を創っていきます。

#### (6) 参加型社会への推進

生活様式の変化に伴い、あらゆる活動への参加が考えられるため、各種活動への参加機会の創出や、地域社会の活性化をはかり、コミュニティ意識の高まりについても対応してまいります。

#### (7) 都市交流の促進

国際化の進展の中で、交流機会や情報量は増大することが考えられるため、国際化への理解を深める異文化交流を進めると共に、国内・国外の都市との多角的な交流をすすめてまいります。

#### (8) 情報システムの整備

情報化については、社会全体に波及することが考えられるため、市民生活、行政、産業の各分野におけるシステム整備と相互のネットワーク化についてもすすめてまいります。

**ゆとりと活力のあるまちえびな**

健康福祉都市、教育文化都市、快適環境都市、生活拠点都市、産業複合都市

ゆとりと活力のあるまちづくり、人にやさしいまちづくり、にぎわいのあるまちづくり、みのりのまちづくり、クリーンなまちづくり

基本構想の推進  
この基本構想に定めた海老名の将来像へ向けたまちづくりのため、市民が市政に参加する機会の提供や自発的な地域活動の支援など住民自治の基盤づくりをすすめます。また、社会経済の変化に対応し効率的で効果的な行政運営をはかる執行体制の整備を行うとともに、財政構造の弾力化を維持し、健全化をはかります。

施策の大綱  
交通の要衝という立地条件を活かし、自立性のある都市機能を整備します。また、市民生活のレベルアップにつながる商業・サービス機能の集積につとめ、都市に集う人々が、いきいきとした情報や感覚を楽しめるおしゃれなまちづくりにつとめま。

高規格道路等の整備により、特に南部地区の発展のポテンシャルは飛躍的に高まることを考えられます。このため、市経済の自立と市域の均衡ある発展を促す産業の立地誘導により活力のあるまちづくりにつとめま。

幼児、高齢者や障害をかかえた人たちが「健康者」とわけへだてなく、地域の一員として安心して暮らすことのできる、人にやさしいまちづくりにつとめま。

余暇時間・余暇需要の都市化の進行など時代潮流といったことへの欲求のため、市内にある資源は、これらのネットワーク化のあるまちづくりにつとめま。

# 私を発言.....

## 市民集会の開催について

市では、現在、平成三年度からスタートする(仮称)海老名市第三次総合計画を策定しています。

新しい総合計画をつくるにあたり、時代潮流を明確に見極めたなかで、海老名市の置かれている状況を踏まえ、次の観点により皆さんの参加を得ながらすすめていく予定です。

「まちづくりはみんなの共同作品」との観点にたち、市民の皆さんの声を計画に反映させるため、すでに協力いただいた市民アンケートの結果の分析や絵画コンクールによる皆さんの夢を描いた作品の吸収、総合計画審議会での専門家による計画素案の検討など、現在併行してその作業をすすめています。

市民アンケートの結果につきましては、これまで、海老名のまちづくりの基本的な考え方や、海老名のイメージづくりの参考とさせて頂きました。



また、絵画コンクールでは、絵画を通して、計画への参加を狙い、小学校低学年の部、高学年の部、中学校の部、高等学校の部、一般の部などに分け、幅の広い年齢層から総合計画書への作品の活用を行います。

総合計画審議会では、市議会議員、学識経験者等による専門的審議がすすめられ、一方で、市政モニター会議や自治会連絡協議会の全体会議での意見交換なども行われてきています。

こうした、一連の流れのなかで、次のとおり市内六カ所にて市民集会を開催し、現在までの経過を踏まえたなかで皆さんとの意見交換の場を設けてさせて頂きました。

私たちのすむ現在の海老名市を、どう未来へ引き継いでいくのか。きいたくないご意見や議論のなかで、「まちづくりはみんなの共同作品」として皆さんとともに計画を策定し、実現していきましょう。



## 市民集会の参加について 10月、未来の海老名が みえてくる!!!

今、海老名市の新しい総合計画が誕生しようとしています。八月まで、総合計画審議会において多方面にわたって検討がなされてきました。そして、この十月からは、皆さんのご意見を頂くための市民集会を予定しています。この集会のなかでは、道路、教育、健康、福祉などといった市政に関する多くの問題について活発なご意見を頂きたいと思っております。開かれた市政は、市民の皆さんの貴重なご意見の積み重ねが大事と考えられます。十月、秋の夜に総合計画を考える市民集会、ふるってご参加ください。



と き	時 間	会 場 (室)	内 容
10月2日(月)	PM 7:30~9:00	中央公民館3F大会議室	計画素案説明、意見交換
10月11日(水)	PM 7:30~9:30	大谷コミュニティセンターレクリエーション室	//
10月12日(木)	PM 7:30~9:30	柏ヶ谷コミュニティセンター3Fレクリエーション室	//
10月13日(金)	PM 7:30~9:30	コミュニティ防災センター(消防南分署)2F会議室	//
10月17日(火)	PM 7:30~9:30	中新田コミュニティセンター2F第2集会室	//
10月29日(日)	PM 2:00~4:30	市役所4F402会議室	総括(まとめ)、講演会、意見交換

※市民集会や総合計画に関する内容の問い合わせについては、海老名市総務部企画調整課

(31-2111内311)までご連絡下さい。